TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝加湿器 温風気化／気化式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-M70X
KA-M50X

もくじ

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用
Use only in Japan

知っておいていただきたいこと

蒸気や霧は見えません

気化フィルターに風を当てて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

吹き出す風が温かくないことがあります

温風気化式で運転している場合でも、水が気化するときには熱が奪われるので、吹き出す風が温かくないことがあります。

湿度や温度によって加湿量が変わります

雨の日など湿度が高いときや、温度が低いときは、水が気化しにくいため加湿量が少なくなります。（タンクの水の減り方が遅くなります）
また、湿度が低いときは加湿量が多くなります。（タンクの水の減り方が速くなり、連続加湿時間が短くなります）

きれいな空気と水で加湿します

● エアフィルター（抗花粉※1・ダニ※2・抗菌※3・ウイルス抑制※4フィルター）

フィルターに集められた花粉やダニの死がい、菌、ウイルスのはたらきを抑制する加工を施しています。

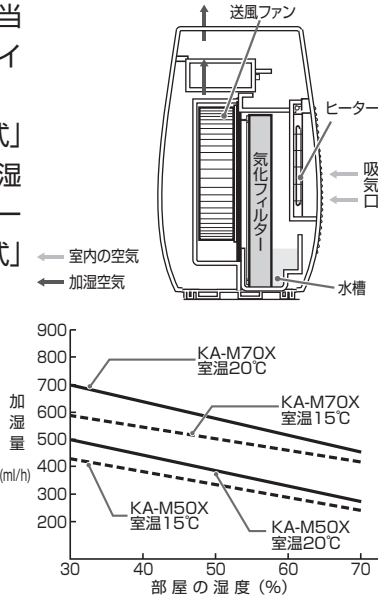
● タンク（抗菌タンク）・タンクキャップ（抗菌タンクキャップ）

抗菌※7加工を施し、タンク・タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。

ハイブリッド式（温風気化／気化式）

この製品は、水を含ませた気化フィルターに風を当てて加湿する「気化式」と温風を当てる「温風気化式」のハイブリッド式です。
加湿し始めは「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に達すると、自動的にヒーターを使わない「気化式」に切り換えて加湿します。

部屋の湿度と加湿量

室温20℃、湿度30%、「連続」運転時タンク満水でKA-M70Xで約5時間25分、KA-M50Xで約7時間40分運転できます。

● 気化フィルター（抗菌・防かびロータリー気化フィルター）

抗菌※5、防かび※6加工を施し、気化フィルターに付着した菌の繁殖を抑え、ロータリー方式にすることによって、約10年（約120カ月）使用することができます。（1日8時間運転の場合）

● 抗菌ガラス※8

トレイ内の菌の繁殖を抑制します。

ピコイオン運転について

ピコイオンユニットの電極ピンに高電圧をかけることによって、電極ピンの先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出します。除菌※9・脱臭※10をすると同時に、アレル物質（花粉※11・ダニ※12）・ウイルス※13を抑制します。

	※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7	※8
試験機関	信州大学　繊維学部	信州大学　繊維学部	㈶日本紡績検査協会	大阪府立公衆衛生研究所	㈶日本紡績検査協会	㈶日本紡績検査協会	㈶新潟県環境衛生研究所	㈶新潟県環境衛生研究所
試験方法	ELISA、SDS PAGEによる、植物花粉アレル物質タンパクの吸着及び変性試験	ELISA、SDS PAGEによる、動物性アレル物質タンパクの吸着及び変性試験	JIS L 1902に準拠	ウイルス感染価（$TCID_{50}$）測定による、不活化効力試験	JIS L 1902に準拠	JIS Z 2911に準拠	JIS Z 2801に準拠	浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測
抗花粉・ダニ・抗菌・ウイルス抑制・防かびの方法	エアフィルターに金属フタロシアニンを担持			エアフィルターにウイルス抑制剤添着	気化フィルターに抗菌加工	気化フィルターに防かび剤を含浸	タンク・タンクキャップに抗菌加工	水溶性ガラスに銀を含有
抗花粉・ダニ・抗菌・ウイルス抑制・防かびを行っている対象部分の名称	エアフィルター				気化フィルター	気化フィルター	タンク・タンクキャップ	抗菌ガラス
試験結果（試験番号）	植物花粉アレル物質タンパクを吸着・変性	動物性アレル物質タンパクを吸着・変性	99.9%の抗菌効果を確認（026625-1, 026625-2）	99.9%のウイルス抑制効果を確認（大公研第313, 360, 397号）	99.9%の抗菌効果を確認（10211945-1, 10211945-2）	防かび効果を確認（10211945-3）	99.9%の抗菌効果を確認（第 200903679-001-MBA号）	99.9%の抗菌効果を確認（第 200903677-001-MBA号）

	※9	※10	※11	※12	※13		
試験機関	京都薬科大学　薬剤学教室	㈱NSS	信州大学　繊維学部	信州大学　繊維学部	㈶日本食品分析センター	㈻北里研究所 北里大学北里研究所メディカルセンター病院	華南農業大学　獣医学院
試験方法	標準寒天培地表面塗抹法	6畳の試験室内でピコイオンユニットを搭載した加湿器を運転させ、アンモニア臭を付着させた布地の臭気低減効果を検証	11L試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたスギの花粉の作用を電気泳動法で測定	$1m^3$試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたダニの死がいの作用をELISA法で測定	120L密閉ボックス内にウイルス浮遊液を置き、ピコイオンユニットを作動させ、ウイルス量の変化を$TCID_{50}$法で測定	110L密閉ボックス内にウイルスを噴霧、ピコイオンユニットを作動させ、ウイルス量の変化を$TCID_{50}$法で測定	125L密閉ボックス内にウイルス浮遊液を置き、ピコイオンユニットを作動させ、ウイルス量の変化を$TCID_{50}$法ならびにEID_{50}法で測定
除菌・脱臭・抗花粉・ダニ・ウイルス抑制の方法	水を微細化させ、空気中に放出						
除菌・脱臭・抗花粉・ダニ・ウイルス抑制を行っている対象部分の名称	ピコイオンユニット						
試験結果（試験番号）	99.9%の除菌効果を確認（第80815号）	布付着臭初期KA-M70Xは5ppm、KA-M50Xは4.8ppmが120分後に0.9ppmに低減（201000932-001-EZA）	抑制効果を確認	抑制効果を確認	99.9%のウイルス抑制効果を確認（第 207062037-002号）	3時間後に99.2%のウイルス抑制効果を確認（00906）	12時間後に99%以上のウイルス抑制効果を確認（2010(001)号, 2010(002)号）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

⚠警告

指　示

● 異常・故障時にはすぐに使用を中止する
（火災・感電・けがの原因）
すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

《異常・故障例》
- ●水漏れする
- ●本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする
- ●異常な音や振動がする
- ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする

プラグを抜く

● 転倒した場合は、すぐに電源プラグを抜く
（火災・感電・けがの原因）
本体が乾いてから使用してください。

● お手入れをするときや、持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

分解禁止

● 分解・修理・改造をしない
（火災・感電・けがの原因）
内部に電圧の高い部分があります。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

ぬれ手禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電・けがの原因）

禁　止

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所では使わない
（感電・けが・やけどの原因）
特に乳幼児にはご注意ください。

● 不安定な場所に置かない
（転倒したときや、傾斜した状態で運転した場合、水がこぼれる原因）

禁　止

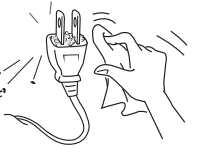
● 電源プラグ・コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない
（火災・感電・けが・ショートの原因）
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

● 電源プラグ・コードを傷付けない
（火災・感電・ショートの原因）
- ●加工しない
- ●熱器具に近づけない
- ●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- ●無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

● コンセントや配線器具の定格を超えて使ったり、交流100V以外で使ったりしない
（火災・感電の原因）

指　示

● 電源プラグの刃や刃の取付面にほこりが付いた場合は、乾いた布でふき取る
（絶縁不良による火災の原因）

（つづく）

⚠警告

指　示

●トレイの中の水を捨てるときは、タンク・トレイ・気化フィルターをはずしてから、トレイを傾けて水を捨てる
（本体から直接水を捨てると、内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）
15ページ「トレイ」を参照してください。

●同じ場所で長期間使う場合は、ときどき製品下部や床を清掃する
（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）

禁　止

●使用中や運転停止後約10分間は、持ち運んだり、お手入れしたりしない
（本体高温部によるやけどの原因）

●吹出口・吸気口やすき間にピン・針金などの異物を入れない
（感電・異常動作してけがの原因）

●トレイの中の水を飲まない
（健康に悪影響をあたえる原因）

水ぬれ禁止

●水につけたり、水をかけたりしない
（ショート・火災・感電の原因）

禁　止

●お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗剤は使わない
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

⚠注意

指　示

●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
（コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

プラグを抜く

●使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

禁　止

●加湿された風が家具や壁などに直接当たるところに置かない
（しみが付いたり、変形する原因）

●暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
（転倒したときなどに感電・ショートの原因）

指　示

●持ち運ぶときは運転を止め、タンク・トレイの水を捨ててから、ハンドルを持って運ぶ
（水がこぼれて床をぬらす原因）
傾けたり、ゆすったりしないでください。

●タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、本体内部は定期的にお手入れする
（お手入れをしないで使い続けると、かびや雑菌が繁殖し、悪臭の原因）
体質によっては、健康に影響があることがあります。異常を感じた場合は、医師に相談してください。

禁　止

●本体・タンクを落としたり、強い衝撃をあたえたりしない
（本体・タンクが破損し、水漏れ・感電・ショート・発火の原因）

●本体内部に直接水を入れない
（感電・ショートの原因）

●吹出口・吸気口をふさがない
（変形・故障の原因）

●吸気グリル・エアフィルター・ピコイオンユニットなどをはずしたまま使わない
（感電・やけど・故障の原因）

お願い

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水（飲用）以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、かびや雑菌が繁殖したり、変形や故障の原因になります。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くに置かない
・タンク内の空気が膨張し、水があふれることがあります。
・プラスチック部分が変形、変質することがあります。

湿度の高い場所（85%以上）では使わない
・加湿のしすぎは、室内の結露やかびの原因になります。
・故障の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、以下の場所で使用しない
・直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たる場所
・窓際など外気の影響を受けやすい場所
・室内の温度が5℃～35℃でない場所

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が出る機器の近くに置かない
正常に動作しないことがあります。

使わないときはタンクとトレイの水を捨てる
水を入れたまま放置すると、かびや雑菌が繁殖しやすくなります。

ハンドル・タンクとってを持って本体・タンクを振りまわさない
破損、割れ、水漏れなどの原因になります。

定期的にお手入れする
お手入れをしないで使い続けると、本体内部に水あかなどが付着して取れにくくなります。
・かびや雑菌が繁殖することがあります。

ハンドルで指をはさまない
ハンドルを下げるときは、本体との間に指をはさまないように注意してください。

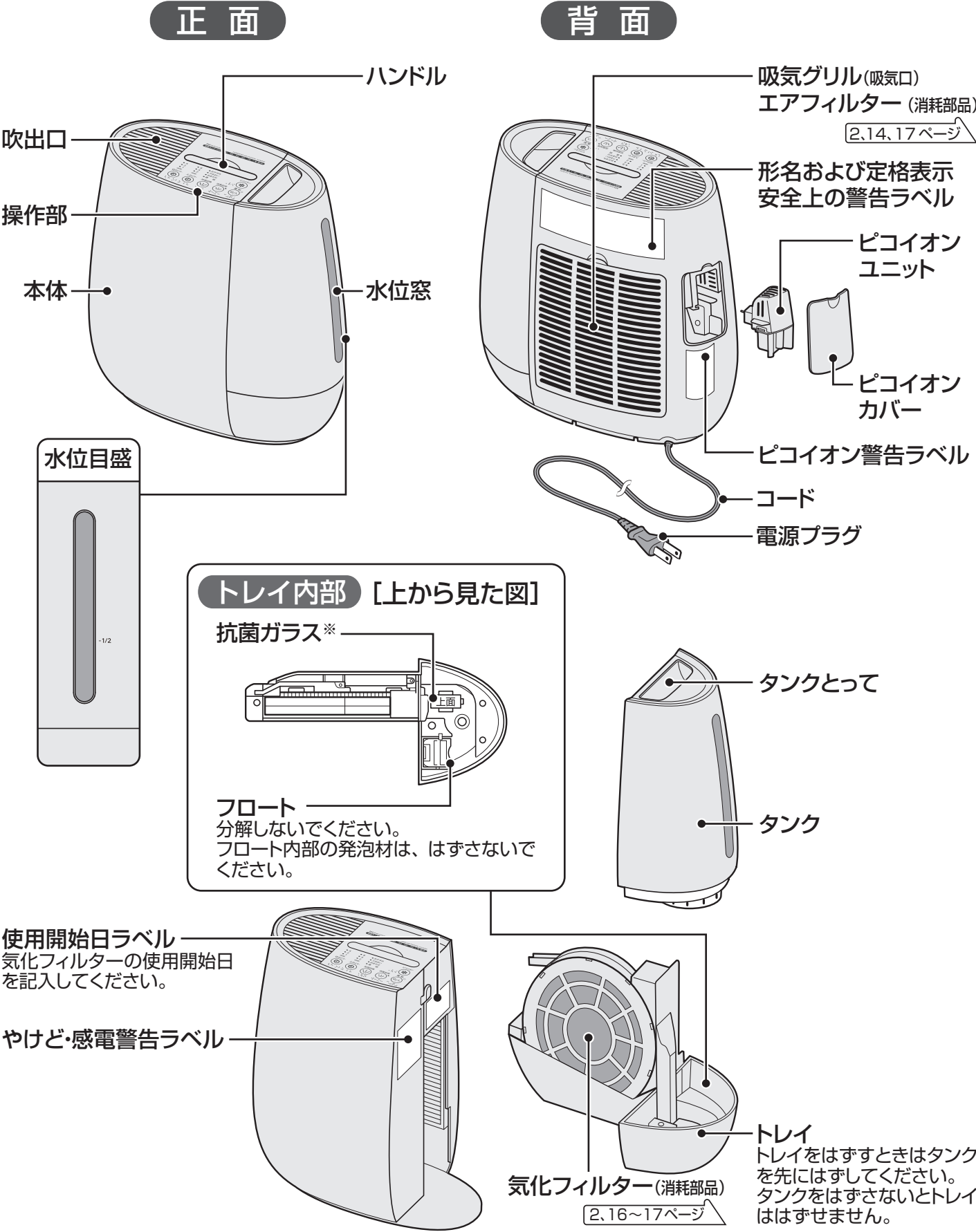
室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

仕様

形名	KA-M70X	KA-M50X
電源	交流100V　50-60Hz共用	
消費電力 ※1	300W	170W
加湿量（室温20℃/湿度30%）※2	約700ml/h	約500ml/h
タンク容量	約3.8L	
連続加湿時間（目安）（室温20℃/湿度30%）※3	約5時間25分	約7時間40分
適用床面積（目安） ※4	木造和室～12畳（～20m²） プレハブ洋室～19畳（～32m²）	木造和室～8.5畳（～14m²） プレハブ洋室～14畳（～23m²）
外形寸法	幅約410mm×奥行約220mm×高さ約370mm	
質量	約5.4kg	
コードの長さ	約1.4m	
付属品	エアフィルター（本体装着）、気化フィルター（本体装着）、ピコイオンユニット（本体装着）	

※1、※2、※3加湿モード「連続」の場合です
※3タンク満水の場合です
※4日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいています。
●運転停止状態の消費電力は約0.5Wです。
※2室温・湿度によって加湿量が変わります。
・室温が高い、または湿度が低いほど加湿量が多くなる。
・室温が低い、または湿度が高いほど加湿量が少なくなる。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえとはたらき

正面

ハンドル
吹出口
操作部
本体
水位窓
水位目盛

背面

吸気グリル(吸気口)
エアフィルター(消耗部品)
2、14、17ページ
形名および定格表示
安全上の警告ラベル
ピコイオンユニット
ピコイオンカバー
ピコイオン警告ラベル
コード
電源プラグ

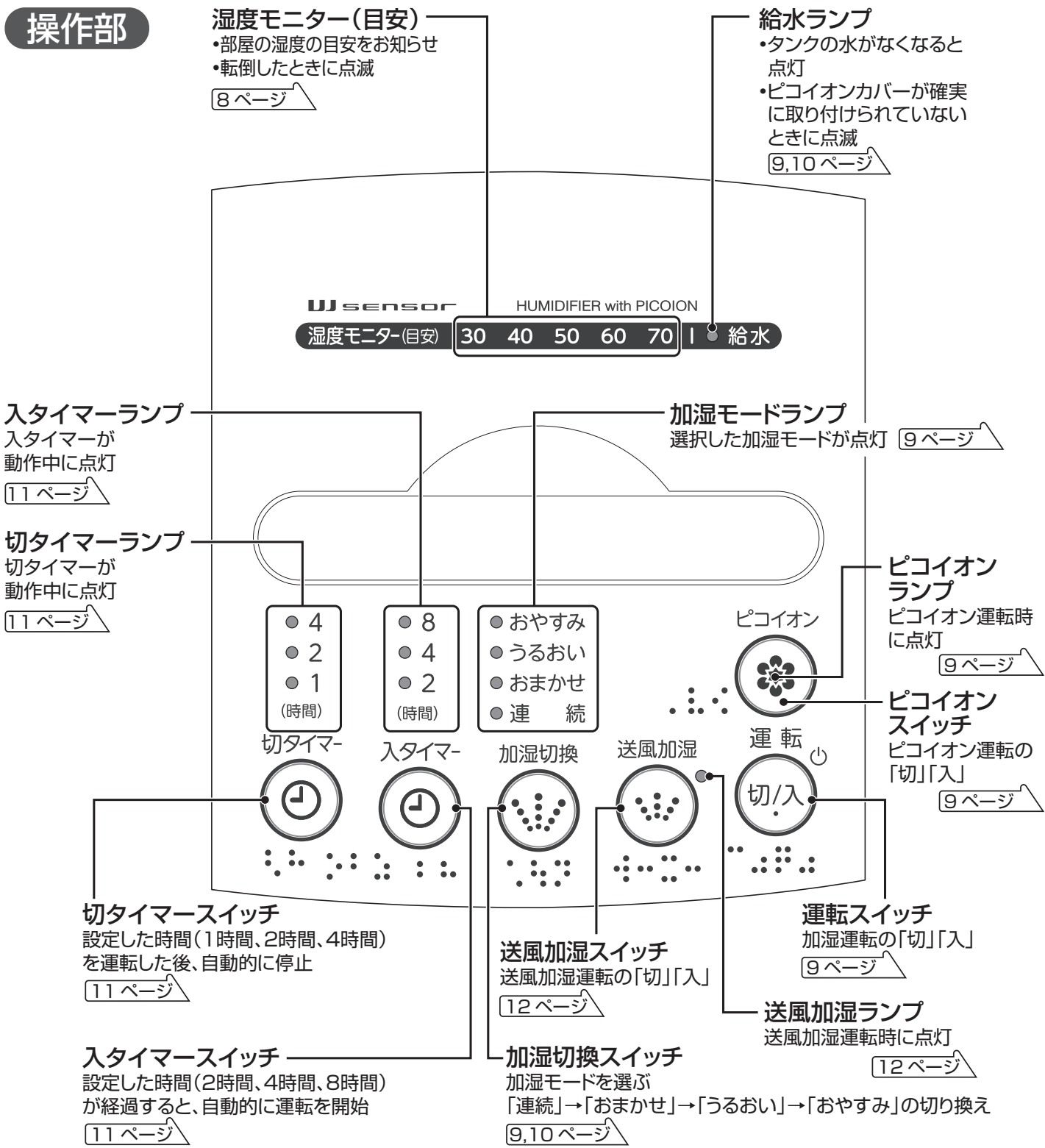
トレイ内部 [上から見た図]

抗菌ガラス※
フロート
分解しないでください。
フロート内部の発泡材は、はずさないでください。

タンクとって
タンク

使用開始日ラベル
気化フィルターの使用開始日を記入してください。
やけど・感電警告ラベル
気化フィルター(消耗部品)
2、16～17ページ
トレイ
トレイをはずすときはタンクを先にはずしてください。
タンクをはずさないとトレイははずせません。

※試験機関………………㈶新潟県環境衛生研究所
試験方法………………浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測
抗菌の方法……………水溶性ガラスに銀を含有
抗菌を行っている対象部分の名称……抗菌ガラス
試験結果…………………………………99.9%の抗菌効果を確認
(試験番号)　(第200903677-001-MBA号)

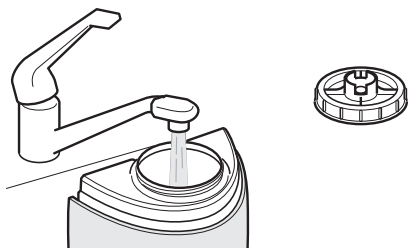
操作部

●各スイッチの近くに点字が付いています。

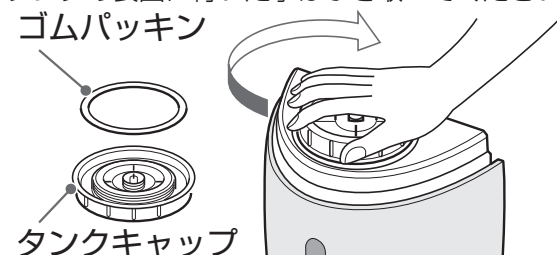
スイッチ名称	切タイマー		入タイマー	加湿切換	送風加湿	運 転	ピコイオン
点字							
読みかた	キリ	タイマ	イリ	カシツ	ソーフー	ウンテン	ピコ

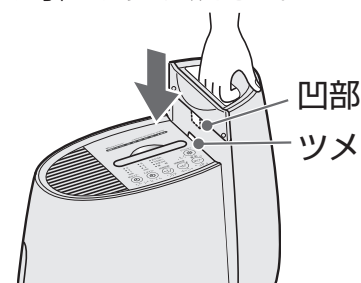
使いかた

タンクに水を入れる

1 タンクとってを持ってタンクをはずす

2 タンクを逆さまにしてから、タンクキャップをはずし、水道水を入れる

3 タンクキャップをしっかりしめる

- ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝に付いていることを確認してください。
- 水漏れがないことを確認してください。
- タンクの表面に付いた水はふき取ってください。

4 タンクキャップを下にして、タンクを本体に取り付ける

- タンクは傾かないように、タンクの凹部を本体のツメに引っかけてください。

お願い

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体内部には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたときや、温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合はふき取ってください。
- タンクを落としたり、衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、割れ、水漏れなどの原因になります。

湿度モニター（目安）の表示

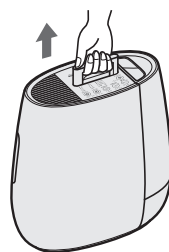
部屋の湿度（目安）を点灯表示します。

湿度モニター(目安) 30 40 50 60 70

- 湿度モニターは目安です。（40、50、60は緑色、30、70は赤色で点灯します）
- 同じ室内でも場所によって湿度が異なるため、部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 加湿運転中以外は表示されません。
- 運転開始から約30分間は、湿度モニターが部屋の湿度と異なる場合がありますが、徐々に室内湿度に近づきます。

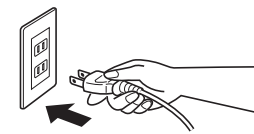
持ち運ぶときは

持ち運ぶときは運転を止め、タンク・トレイの水を捨ててから、ハンドルを持ってゆっくり運んでください。

- 水を捨てずに持ち運ぶと、傾いたときに水がこぼれることがあります。

お願い

- 水平な安定した場所に置いて使用してください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザーが鳴り、湿度モニターが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体を起こしてください。こぼれた水をふき、本体が乾いてから使用してください。

加湿運転のしかた

1 電源プラグをコンセント（交流100V）に確実に差し込む

2 運転 切/入 を押す

▶加湿モードランプの連続（緑色）、ピコイオンランプ（青色）が点灯し、「連続」運転を開始すると同時に、ピコイオン運転も開始します。

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーが鳴り、給水ランプ（赤色）が点滅したときは、10ページの「エラー検知について」をご覧ください。

加湿モードを「連続」以外にするときは

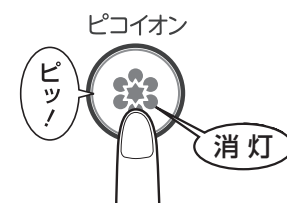
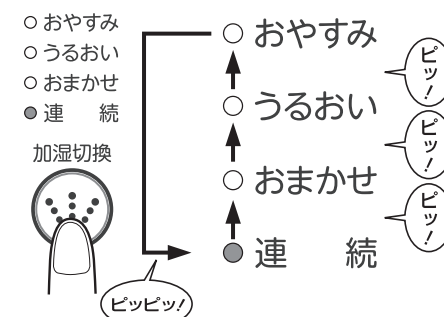
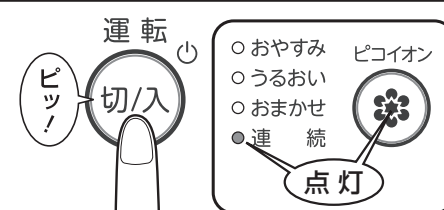
加湿切換 を押す

▶選んだ加湿モードランプ（緑色）が点灯し、加湿モードが切り換わります。

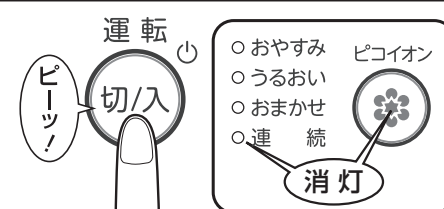
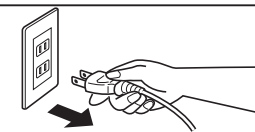
ピコイオン運転を止めるときは

ピコイオン を押す

▶ピコイオンランプ（青色）が消灯し、ピコイオン運転を停止します。
- もう一度ピコイオンスイッチを押すと、ピコイオン運転が始まります。
- ピコイオン単独運転はできません。

運転スイッチで「切」にした後、電源プラグを抜かずに「入」にすると、ピコイオン運転は「切」にする前の状態になります。

3 運転を止めるときは

運転 切/入 を押して「切」にする

▶設定した加湿モードランプ（緑色）が消灯します。ピコイオン運転している場合は、ピコイオンランプ（青色）が消灯し、ピコイオン運転も停止します。
- 約60秒間送風後停止します。

4 電源プラグを抜く

お願い

- 運転停止操作後、60秒以上たってから電源プラグを抜いてください。

タンクに水がなくなると
「ピー、ピー、…」とブザー音が5回鳴り、給水ランプ（赤色）が点灯し、自動的に運転が止まります。

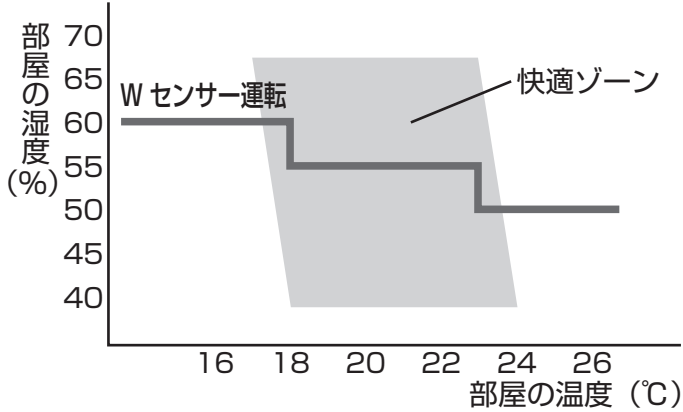
点 灯 ● 給水

続けて使うとき

タンクに水を入れて本体にセットしてください。給水ランプが消灯し、自動的に再運転します。

お知らせ

- 連続加湿時間の目安（室温20℃・湿度30％・タンク満水・「連続」運転の場合）
  KA-M70X：約5時間25分
  KA-M50X：約7時間40分

（つづく）

加湿切換について

●「連続」
部屋の乾燥が気になる場合
▶部屋の湿度に関係なく、連続で加湿します。

●「うるおい」
のどや肌の乾燥が気になる場合
▶湿度約65%で湿度コントロールします。

●「おやすみ」
静かな音で運転したい場合
▶部屋の湿度に関係なく、弱風量で運転します。
（加湿量は少なくなります）

●「おまかせ」
快適な湿度を保ちたい場合
▶湿度と温度のWセンサーがお部屋を快適な湿度に保ちます。

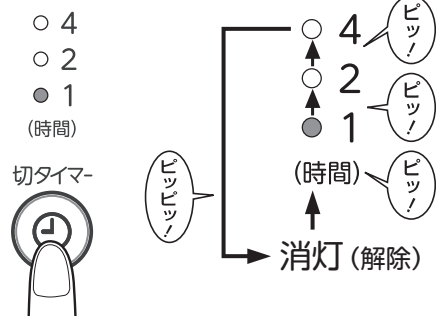
お知らせ

●適用床面積以内でも部屋の壁、床の材質、換気の度合、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合があります。
●同じ室内でも空気の流れの状態によって湿度が異なることがありますので、部屋の湿度計と本製品の湿度モニターの表示に差が出る場合があります。
●「おまかせ」「うるおい」運転の場合、部屋の湿度に関係なく、運転開始から３分間は強風で加湿し、その後、自動湿度コントロールが始まります。運転開始から３分未満であっても、加湿モードを切り換えた場合は、すぐに自動コントロールを行います。
●「おまかせ」「うるおい」運転では、風量も強・中・弱の３段の自動調節を行います。
●給水ランプが点灯、または点滅しているときは、運転スイッチ以外の操作は受け付けません。
給水ランプが点灯しているときは、タンクに水を入れてから操作してください。給水ランプが点滅しているときは、ピコイオンカバーを確実に取り付けてから操作してください。
●運転スイッチで「切」にした後、電源プラグを抜かずに「入」にすると、メモリー機能によって、「切」にする前の加湿モードで運転します。（ただし、切/入タイマー、送風加湿運転は記憶されません）
●運転中に停電した後や、電源プラグを差し直した後に運転スイッチで「入」にした場合、加湿モードは「連続」運転になります。

エラー検知について 以下のようなときは、運転できません。（運転中は運転を停止します）

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーが鳴り、給水ランプが点滅しているとき

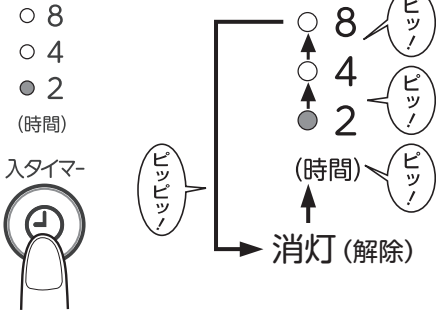
●ピコイオンカバーが確実に取り付けられていません。ピコイオンカバーを確実に取り付けてください。

タイマー運転のしかた

切タイマー運転

設定した時間を運転した後、自動的に運転を停止します。

運転中に
切タイマー
を押し、切タイマー時間を設定する
（1時間、2時間、4時間の設定ができます）

▶押すたびに切タイマーランプ（緑色）が右図の順序で点灯します。
▶時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。
●切タイマースイッチを押して切タイマーランプを消灯させるか、運転を止めると切タイマーは解除されます。
●切タイマーを設定後、入タイマーを設定できます。

○4
○2
●1
(時間)
切タイマー
ピッピッ！
4 ピッ！
2 ピッ！
1
(時間) ピッ！
消灯（解除）

入タイマー運転

●電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。
設定した時間が経過すると、自動的に「おまかせ」運転を開始します。
（設定したときにピコイオン運転していた場合は、ピコイオン運転も開始します）

運転停止中か、切タイマー設定中に
入タイマー
を押し、入タイマー時間を設定する
（2時間、4時間、8時間の設定ができます）

▶押すたびに入タイマーランプ（オレンジ色）が右図の順序で点灯します。
▶時間の経過とともに入タイマーランプが切り換わり、運転開始までの時間の目安を表示します。
●入タイマーランプを消灯させるか、運転スイッチを押すと、入タイマーは解除されます。

○8
○4
●2
(時間)
入タイマー
ピッピッ！
8 ピッ！
4 ピッ！
2
(時間) ピッ！
消灯（解除）

4時間オートパワーオフ機能

入タイマーで運転を開始してから４時間後、運転が止まります。
●入タイマーで運転を開始すると、切タイマーランプの４時間が点灯します。時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。
●４時間オートパワーオフ機能を解除したいときは、切タイマースイッチを押して切タイマーランプを消灯させるか、加湿切換スイッチ、または送風加湿スイッチを押してください。運転スイッチを押して運転を停止したときも解除されます。

お願い

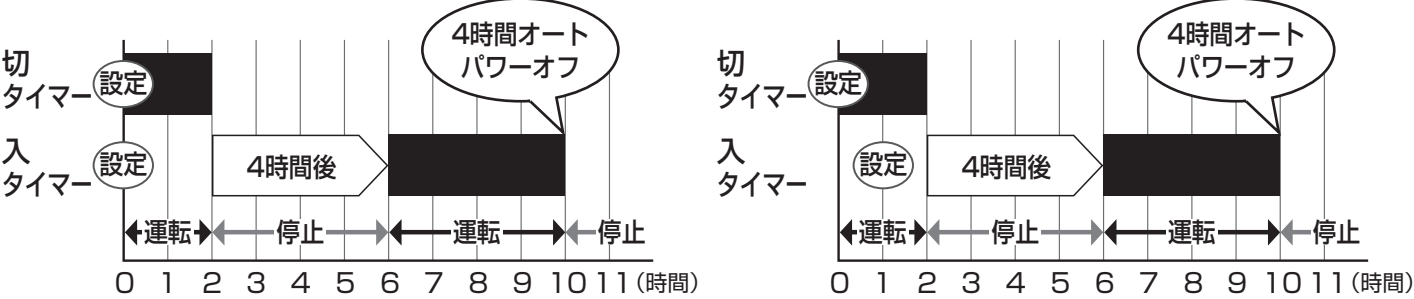
●切/入タイマー時間を変えたいときは、切/入タイマースイッチを押してお好みの時間に設定してください。新しく設定した時間からタイマーが作動します。
●給水ランプが点灯しているときは、タイマーを設定できません。タンクに水を入れてから設定してください。
●切タイマー運転をする前に、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転が止まり給水ランプが点灯します。この場合、運転停止中でもタイマーは継続して作動しています。タンクに水を入れて本体にセットすると、加湿運転を再開し、切タイマー設定時間が経過すると自動で運転が止まります。

（つづく）

切/入タイマー連動運転について

運転中、切タイマーを設定後、入タイマーを設定できます。

例：切タイマーを２時間、入タイマーを４時間に設定した場合

例：切タイマーを２時間設定し、１時間後に入タイマーを４時間に設定した場合

お知らせ

●切タイマー設定後、時間がたってから入タイマーを設定した場合でも、切タイマーで運転が停止した時間から、設定した入タイマー時間のカウントが始まります。
●切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
●運転停止中に入タイマーを設定した後は、切タイマーは設定できません。

送風加湿運転のしかた

送風加湿運転は、ヒーターを使った「温風気化式」による加湿をせず、気化フィルターに風を当てて加湿する「気化式」の運転だけになります。電気代を抑えて加湿したい場合に使います。

運転中に   **を押す**

形名	KA-M70X		KA-M50X	
運転	送風加湿運転	「連続」運転	送風加湿運転	「連続」運転
消費電力(W)	24	300	20	170
加湿量（ml/h）	約450	約700	約350	約500

※室温20℃、湿度30%時

▶加湿モードランプが消灯、送風加湿ランプが点灯します。
●強・中・弱の３段の風量を自動調節し、湿度が約55%以上になると弱風量で運転します。
●送風加湿運転中に、送風加湿スイッチ、または加湿切換スイッチを押すと、送風加湿運転をする前の加湿モードで運転します。
●運転停止後、電源プラグを抜かずに「入」にすると、送風加湿運転をする前の加湿モードで運転します。

お手入れのしかた

⚠警告

●**お手入れをするときや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く**
（感電・けがの原因）

●**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
（感電・けがの原因）

禁止
●**使用中や運転停止後約10分間は、持ち運んだり、お手入れしたりしない**
（本体高温部によるやけどの原因）

禁止
●**お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗剤は使わない**
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

●使い続けるうちに、トレイ内部や、気化フィルター、ピコイオンユニット表面に白、または茶色の水あかが付着します。お手入れをしないで使い続けると、水あかが固まって取れにくくなり、加湿量が低下します。

●お手入れのしかたに従ってお手入れをし、いつも清潔にお使いください。

手順

準備
1.電源プラグを抜く
2.本体内の部品を取り出す

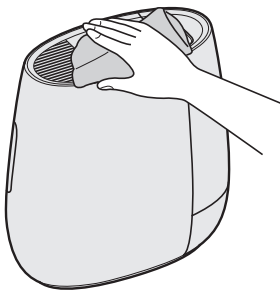
各部のお手入れ
説明に従って各部のお手入れをする

部品を元通りに取り付ける

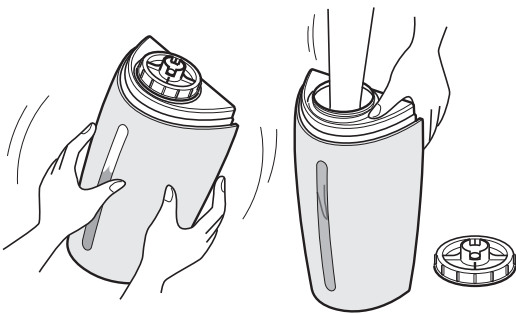
お願い

●中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください。
●ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザーなどは使用しないでください。変質・変色することがあります。
●化学ぞうきんを使う場合は、その注意書に従ってください。

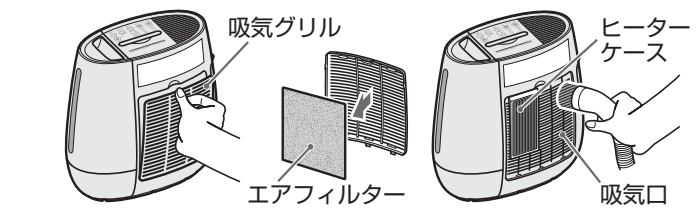
本　体（汚れたら）

1.水に浸してかたく絞ったやわらかい布で、汚れをふき取る
2.乾いた布で水分をふき取る
●汚れがひどいとき
①中性洗剤溶液に浸した布を絞って汚れをふき取る
②洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分にふき取る

タンク内（給水するたび）

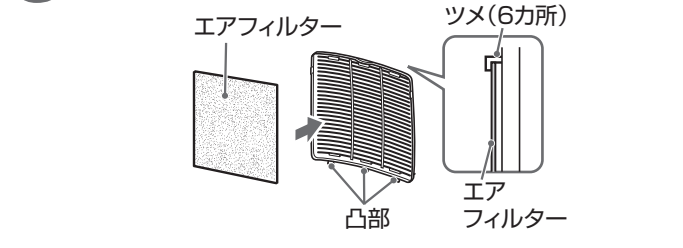
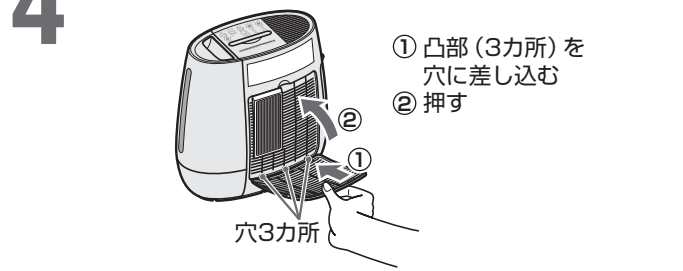
1.タンクに残っている水を捨てる
2.タンクに少量の水を入れ、タンクキャップをしめて、よく振り洗いする
3.タンクの水を捨てる
●２～３回繰り返してください。
●汚れが落ちにくい場合は、タンクの中をスポンジで洗ってください。

（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

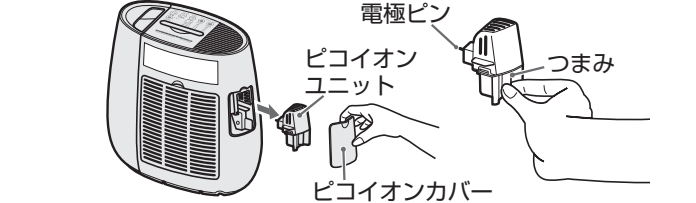
エアフィルター（1週間に1回程度）

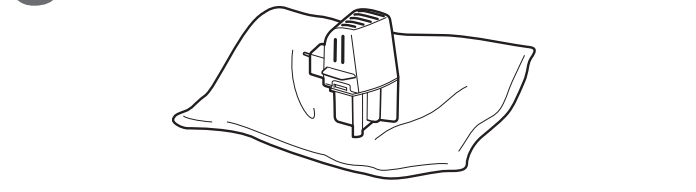
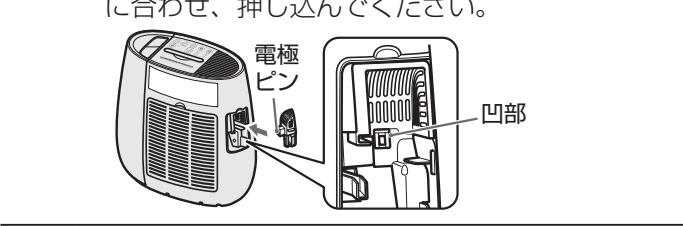
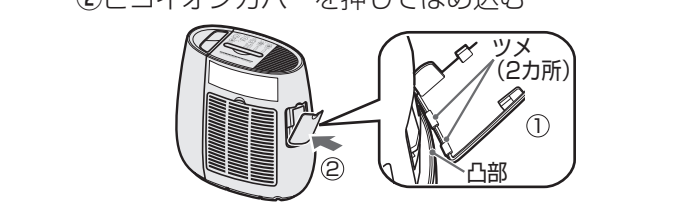
1 吸気グリルをはずし、エアフィルターを取り出す
●吸気口とヒーターケースのほこりを掃除機で吸い取ります。

2 エアフィルターのほこりを取る
●かるくたたいてほこりを取ります。

お願い
●エアフィルターの効果が弱まるため、水洗いしないでください。

3 エアフィルターを吸気グリルに取り付ける

4 吸気グリルを本体に取り付ける

ピコイオンユニット（2週間に1回程度）

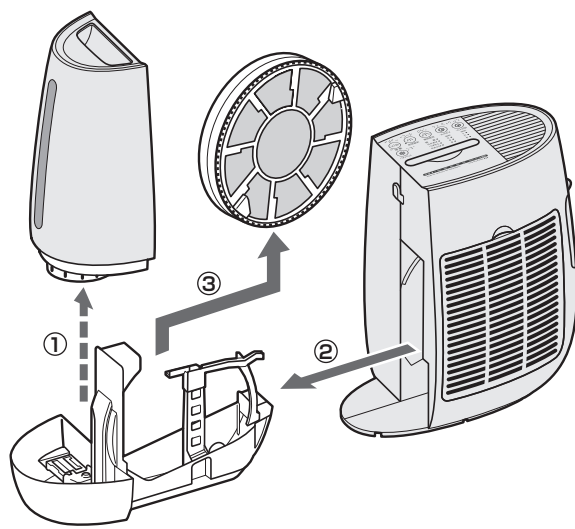
●使い続けるうちに、ピコイオンユニットに白、または茶色の水あかが付着します。お手入れをしないで使い続けると、水あかが固まって取れにくくなり、ピコイオンユニットの性能が低下します。
●水質によっては、水あかが付きやすい場合があります。このような場合は、早めにお手入れしてください。

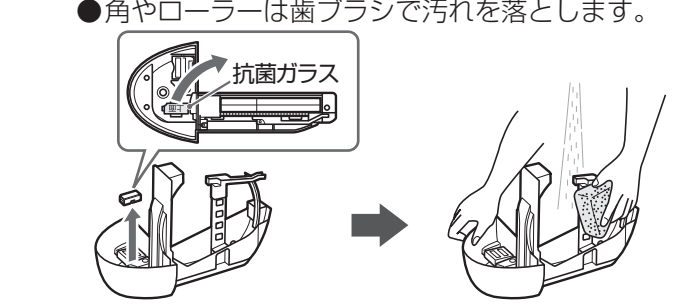
1 ピコイオンカバーをはずし、本体からピコイオンユニットをはずす
●ピコイオンユニットは、つまみをつかんで真横に引き出してください。

2 つけ置き洗いをし、水で洗い流す
●ピコイオンユニットを水につけます。（8時間以上）

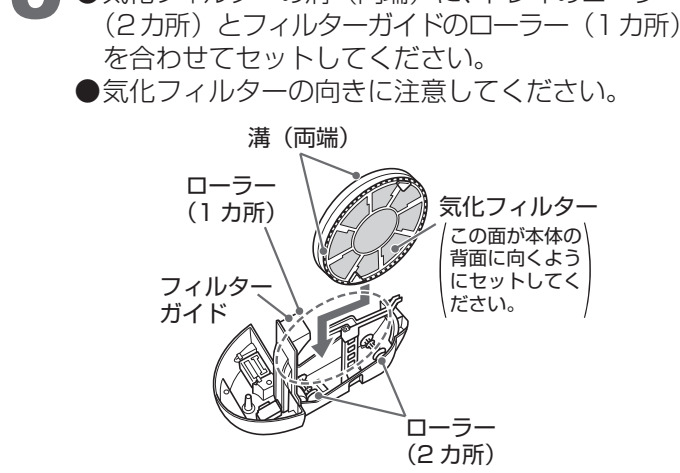
3 やわらかい布で水分をふき取り、十分に乾燥させる

4 ピコイオンユニットを本体に取り付ける
●ピコイオンユニットの電極ピンを、本体の凹部に合わせ、押し込んでください。

5 ピコイオンカバーを取り付ける
①ツメ（2カ所）を本体の凸部に合わせる
②ピコイオンカバーを押してはめ込む

お願い
● 熱湯で洗わないでください。（変形の原因）
● 洗剤は使用しないでください。（変形・変色・割れの原因）
● ブラシやとがったものでこすらないでください。（故障の原因）
● 保管するときは、水分をふき取り、十分に乾燥させてください。（かびの原因）

汚れが取れにくいときは16ページを参照してクエン酸洗浄を行ってください。

トレイ（2週間に1回程度）

1 タンク・トレイ・気化フィルターをはずす
①タンクをはずす
②トレイをはずす（タンクを先にはずしてからトレイをはずしてください。タンクをはずさないと、トレイははずせません）
③気化フィルターをはずす（気化フィルターから水がたれてくるので、注意してください）

2 トレイの中の水を捨てる
●図のように傾けて排水してください。

3 抗菌ガラス※をはずし、トレイを水洗いする
●角やローラーは歯ブラシで汚れを落とします。

4 抗菌ガラス※を水洗いし、トレイにセットする
●ゴミなどを洗い流してから、「上面」の文字を上にしてセットしてください。

5 トレイに気化フィルターを取り付ける
●気化フィルターの溝（両端）に、トレイのローラー（2カ所）とフィルターガイドのローラー（1カ所）を合わせてセットしてください。
●気化フィルターの向きに注意してください。

6 本体内側の汚れをふき取る
13ページ「本体（汚れたら）」を参照してください。

7 本体にトレイを取り付ける
●取り付けが不完全な場合、給水ランプが点灯します。
●気化フィルターの向きが合っていないと、トレイを本体に確実に取り付けられません。

8 トレイをセットした後、タンクを取り付ける
●8ページ「タンクに水を入れる」を参照してください。

※試験機関……………………㈶新潟県環境衛生研究所
試験方法……………………浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測
抗菌の方法…………………水溶性ガラスに銀を含有
抗菌を行っている対象部分の名称……抗菌ガラス
試験結果………………………………99.9%の抗菌効果を確認
（試験番号）　（第200903677-001-MBA号）

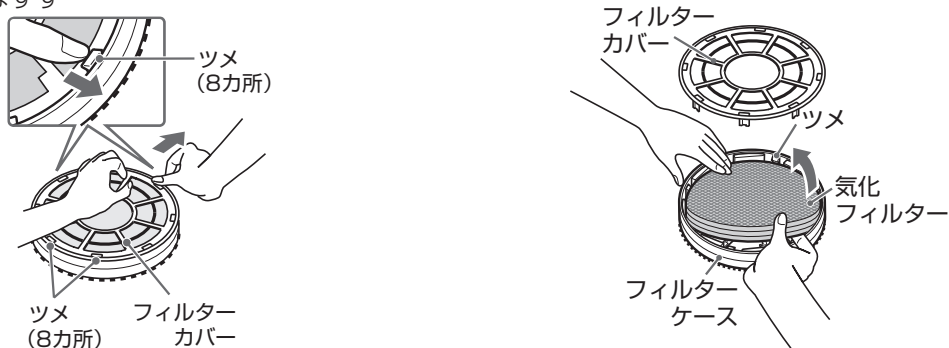
お手入れのしかた（つづき）

気化フィルター（3カ月に1回程度）

●気化フィルターは、すべての菌やかびの繁殖を抑制するものではありません。
●汚れが付くと抗菌・防かび効果が弱まります。抗菌・防かび効果が長持ちするように3カ月に1回程度のお手入れをおすすめします。
●使い続けるうちに、トレイ内部や、気化フィルター表面に白、または茶色の水あかが付着します。お手入れをしないで使い続けると、水あかが固まって取れにくくなり、加湿量が低下します。
●水質によっては、水あかが付きやすい場合があります。このような場合は早めにお手入れしてください。
●気化フィルターから色が落ちる場合がありますが、異常ではありません。

1 気化フィルターをはずす
●15ページ「トレイ」を参照してください。

2 フィルターカバーとフィルターケースをはずす
①フィルターカバーを下図のように上に引っ張りながら、フィルターケースのツメ（8カ所）を順番に外側に押して、フィルターカバーをはずす

②フィルターケースから気化フィルター（3枚）を取り出す

3 水、またはぬるま湯で押し洗いする
・フィルターケースとフィルターカバーは、水洗いしてください。

においが取れにくいとき

1 水、またはぬるま湯（約40℃）に台所用合成洗剤（粉末）を溶かして、つけ置き洗いする
●台所用合成洗剤（粉末）使用量：洗剤容器の表示に従ってください。
●つけ置き時間：約1時間

汚れが取れにくいとき

1 ぬるま湯（約40℃）にクエン酸を溶かして、つけ置き洗いする
●クエン酸使用量:1Lあたり約10g（小さじ2杯）（濃度が高いと破損の原因になります）
●つけ置き時間：約1時間
（お湯の温度は徐々に下がりますが、お湯は加えないでください）

2 きれいな水ですすぎ洗いする
●水を入れ換えて、においがなくなるまで2～3回繰り返します。
すすぎを十分にしないと、洗剤やクエン酸のにおいが発生したり、故障の原因になったりします。

お願い
●気化フィルターを強く引っ張ったり、絞ったりしないでください。
●クエン酸を使う場合は、換気扇に近いところで、換気をしながら行ってください。
●クエン酸が入手できない場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
（部品名：ポット洗浄クエン酸/部品コード：32389024）
●クエン酸は、食品添加物のため食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

3 水分をふき取り、フィルターケースに気化フィルター（3枚）を入れて、フィルターカバーを取り付ける
①フィルターカバーを取り付けるときにはさまらないように、気化フィルターの端を押し込む

●気化フィルターに表裏はありません。また、3枚とも同じものです。

②フィルターカバーの穴（8カ所）を、フィルターケースのツメ（8カ所）に合わせて押し込む

4 トレイにセットし、本体に取り付ける

気化フィルター（交換時期）

気化フィルターは消耗部品です。約10年（約120カ月）を目安に交換してください。（1日8時間運転の場合）
※使用状況によっては、寿命が早まることがあります。定期的なお手入れが必要です。

次のような場合には、目安に関係なく交換してください。
●お手入れしても、においや水あかが取れない。
●お手入れしても、運転時にタンクの水の減りが少ない。
●気化フィルターの傷みや形くずれがひどい。

お願い
●交換方法は、15、16ページ、または交換用の気化フィルター取扱説明書を参照ください。
●気化フィルターを廃棄する場合は、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。
・気化フィルターの材質：ポリエステル

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

お手入れをしても汚れが落ちなくなったり、破損したりした場合は交換してください。

形名	東芝加湿器用気化フィルター
KA-M70X	KAF-13（3枚組）
KA-M50X	KAF-13（3枚組）

	エアフィルター（東芝テクノネットワーク（株）扱い部品）
部品コード	46442655

●約10年（約120カ月）（地域の水質により極端に変化します）を目安に交換してください。

保管のしかた

1 お手入れの後、本体の水をふき取り、日かげで乾かす

2 気化フィルター・ピコイオンユニットの水をよくきり、日かげで乾かす

メモ　湿ったまま保管するとかびの原因になります。

3 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ない場所で保管する

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	原　　因	参照ページ
蒸気（霧）が出ない・見えない	この製品は気化フィルターに風を当てて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。	2
ジージーと音がする	気化フィルターを回転させるときの音で、異常ではありません。	—
ときどきピチャピチャと音がする	気化フィルターが回転し、水が落ちる音です。異常ではありません。	—
ときどきポコポコと音がする	タンクの水がトレイにたまるときの音です。異常ではありません。	—
トレイの水に色が付く	トレイの水がオレンジ色になる場合があります。これは気化フィルターの添加剤によるもので、異常ではありません。	—

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに水を入れてください。	8
	給水ランプが点滅していませんか。	ピコイオンカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。	10
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	—	運転スイッチで「切」にしても送風ファンはしばらく回ります。約60秒間送風後、自動的に停止します。	9
加湿モードランプの「うるおい」か「おまかせ」または、送風加湿ランプが点灯しているのに加湿が弱い（風が弱い）	—	部屋の湿度が、設定した加湿モードの湿度より高いため、弱風運転をしています。さらに加湿したい場合は「連続」運転を選択してください。	10 12
風の出が少ない	おやすみ運転をしていませんか。	おやすみ運転の場合、送風ファンの回転を抑えるため、風の出が少なくなります。	9 10
	エアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	エアフィルターのお手入れをしてください。	14
	気化フィルターに水あかやごみが付いていませんか。	気化フィルターのお手入れをしてください。	16 17
加湿切換ができない 切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに水を入れ、給水ランプが消えてから設定してください。	8～12
タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	トレイが確実に本体に入っていますか。	トレイを確実に本体に入れてください。	15
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	8
	トレイに直接水を入れたり、タンクやトレイに水を入れたまま持ち運んだりしていませんか。	タンクをはずしてトレイの中の水を捨て、再度タンクをセットしてください。	8 15
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	5
	窓や戸を開けていませんか。	窓や戸を閉めてお使いください。	—
においが出る	気化フィルター・エアフィルター・トレイが汚れていませんか。（部屋やタバコのにおいが気化フィルターに付着して、においが出ることがあります）	気化フィルター・エアフィルター・トレイのお手入れをしてください。	14～17
湿度モニターの表示が部屋の湿度計の表示と違う	—	同じ部屋でも空気の流れや、温度差などによって湿度が異なることがあります。湿度モニターは目安としてお使いください。	8
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などでふき取ってください。	8
気化フィルターがトレイにセットしにくい	気化フィルターの取り付け方向が間違っていませんか。	気化フィルターの向きを合わせて、トレイとフィルターガイドのローラーに合わせてセットしてください。	15
本体にトレイを入れるときや引き出すときに水がこぼれる	トレイに気化フィルターが取り付けられていますか。	トレイに気化フィルターを取り付けてください。	15

上記に従って調べて原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※樹脂部品は数年間使用すると、傷むことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**
受付時間：365日　9:00～20:00
携帯電話・PHSなど　022-774-5402（通話料：有料）
FAX　022-224-6801（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から１年間です。** ただし、エアフィルター、気化フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後５年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は ....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは ....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ ....

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　　）

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。
電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

- 水漏れする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする。
- 異常な音や振動がする。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

形名		KA-M70X、KA-M50X		
★お客様	お名前	ふりがな　　　　様		
	ご住所	〒□□□-□□□□		
	電話	市外　　市内　　番号　　呼		
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　　年　　月　　日から	
★ご販売店	住所・店名 電話			

東芝ホームテクノ株式会社　家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
（ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
（ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
（ト）消耗部品の交換。
2.出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3.修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5.ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒 959-1393 新潟県加茂市大字後須田 2570-1
THT-TCCE(TG)